

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	1.5	BEEランク	A
建物名称	フィネス静修学園前	総合評価 ★★★★★			
建物用途	集合住宅				
延床面積	4,917.29 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー ★★★★★	<p>省エネルギー性能: 5.0 省資源等への取組: 4.0 緑化への取組: 5.0</p> <p>この建物は特に 緑化への取組 が優れています</p>
	省資源等 ★★★★★	
	緑化 ★★★★★	
	雪処理 ★★★★★	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア					
A 省エネルギー				合計	20点 / 24点
Q1 温熱環境	スコア 0.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 4.0		
Q1 光・視環境	スコア 5.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.0		
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 8.0		
		LR1 効率的運用	スコア 2.0		
B 省資源等				合計	16点 / 23点
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 5.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 2.0		
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 4.0		
		LR3 地域環境への配慮	スコア 3.0		
C 緑化				合計	10点 / 16点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 2.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0		
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 5.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0				
D 雪処理				合計	2点 / 3点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0		

4 設計上の配慮事項			
A 省エネルギー			
・低炭素建築物新築等計画認定を取得し、日本住宅性能表示基準の一次エネルギー消費量等級5を満たす程、省エネルギー対策を充実させている。 ・効率の優れた潜熱回収型給湯設備の使用など、省エネルギー効果が期待できる設備を採用している。			
B 省資源等		C 緑化	
・乾式間仕切、断熱材のウレタン吹付等、分別を比較的容易にしている。 ・ODP=0、GWP<10の断熱材を使用している。 ・地球温暖化対策の取組みによりLCCO ₂ 排出率が76%となっている。		・基調となる樹種は、耐陰性・耐寒性のある常緑針葉樹を用い、冬の緑量確保に配慮している。 ・市電通りに面した敷地境界沿いや角部に奥行きのある植栽帯を設けて、美観に配慮している。	
D 雪処理			
・敷地内車路・通路をロードヒーティングとし、冬季間の除排雪作業の軽減に努めています。			

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される